
精霊使いと疫病神

くるる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

精霊使いと疫病神

【Nコード】

N2489BA

【作者名】

くるる

【あらすじ】

各人が精霊と契約してその恩恵をあずかる世界。主人公ツキトは一世一代の大仕事、自らの「精霊召喚の義」の際に何故だか疫病神を召喚してしまう。成り行き上彼は疫病神と契約することになるのだがそれは実はとても大きな意味を持っていた！

どうぞよろしくお願いします。

プロローグ

暗い、湿った森の中一人の青年が歩いていた。枯葉が敷き詰められた茶色の地面を踏みしめてゆっくりと進んでいた。夜中にもかかわらずこのような森の中を歩く彼は何者なのだろうか。

「でさ〜……笑っちゃうよな」

彼はなにやら独り言をつぶやく。森の木々が彼の声を包み込み、その声が遠くまで聞こえることはない。断片的に聞こえてくるそれはまるで誰かと話しているかのようであった。青年の声と木々のざわめきだけが小さく流れるこの森の中、突如としてそれを破る男の大声が青年の耳をつんざいた。

止まれ！

青年の目の前の茂みからそれは聞こえてきた。彼はすこし驚いた風にするると立ち止まり、茂みの向こうに目を凝らす。

「オイ、貴様、その身ぐるみを置いていけ。なに、悪いようにはしないさ」

茂みが大きく揺れた。がさがさ……葉をかき分ける音がして、現れたのは5人の男たちであった。全員が全員、とても汚らしい服を着ている。さまざまな服の一部を接いで作られたものなのか、色が部分によって異なっている。手には小ぶりの曲刀を携え、それを腰だめに構えている。その様子を見て青年は「ああ、山賊か」などと一人納得していた。何やらうなずくと、青年は一步踏み出す。枯葉が小さな音を立てる。

「警告が聞こえなかったのか？」

男の一人は強気に言った。しかし、それに反して男たちは一様に焦っていた。この絶対的不利にあつて、自分たちに向かつてくる青年に得体のしれない恐怖を感じていた。枯葉のつぶれる小さな音が妙に耳につく。

「ん？きこえた。服だろ、ほしいの。けどさすがにここでこれを脱ぐとさ、寒いし」

青年はあっさりと答える。小さく笑つて言う彼の様子に山賊一味はさらにその困惑を強める。一步、また互いの距離が近づいた。

「と、止まれ！俺たちにはこれがあるんだぞ！」

そういつて曲刀を突き出す。その切っ先は小さく揺れていたが、山賊たちはそれを自覚できていただろうか。

「おつかないなあ……いいよ、かかつてきても。けどそれを俺はお勧めしない。だって俺は不運だからさ」

意味が分からない。理解できない。それは人間にとって恐怖を生み出すことに十分だった。そして恐怖を拭い去るために、人間がとれる行動は非常に少ない。そのうち一つが得体のしれないそれよりも自らが上位であることを確認すること、すなわち、

「行くぞ！野郎ども！」

暴力の行使であつた。それを見た青年は大きく息を吐く。互いの距離はもうあと3歩ほどにまで迫っているにもかかわらずその顔に緊

張感はない。すこしだけ自らの肩のあたりをちらりとうかがうと、小さな声で紡いだ。

「災厄招来、風」

その一言。それだけで迫っていた男たちすべてが吹き飛んだ。森の青い葉を巻き込んで巻き上がった風が男たちを青年から弾き飛ばし、男たちは木々の幹に衝突し、昏倒する。

一度舞い上がった葉たちがひらり、ひらりと落ちてくる。その中で一人青年は立ち尽くしていた。

「やっぱ、俺ついてねえや」

そのすべてが地につき、枯葉の中に溶け込んだころに彼はそういつて、再び歩き出した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2489ba/>

精霊使いと疫病神

2012年1月6日11時45分発行